

## 飯山高校と下高井農林高校 岳北地域2校存続に向けた取り組み

1月には県教育委員会に  
意見・提案書を提出

長野県教育委員会の県立高  
校の再編方針を受け、平成31  
年(2019年)3月より、

飯山市・木島平村・野沢温泉  
村・栄村(旧第一通学区)の  
行政・教育・経済関係者など  
で構成される「岳北地域の高  
校の将来像を考える協議会」  
では、生徒が減少する岳北地  
域のこれからの高校教育のあ  
り方について協議を重ね、2

校を存続させることを柱とし  
た意見・提案書を作成。令和  
2年1月、長野県教育委員会  
原山教育長に提出しました。

県の再編計画は

長野県教育委員会は、岳北  
地域をはじめ、県内各地域か  
らの意見を踏まえ、3月に「再  
編・整備計画【二次】(案)」  
を策定。7月17日には、飯山  
市文化交流館なちゅらで計画  
案概要の住民説明会が行われ  
ました。



今年1月14日、原山長野県教育委員会教育長に意見・提案書を提出する足立市長。



7月17日になちゅらで行われた県の計画一次案説明会の様子。



昨年野球部の甲子園初出場の快挙で地域を元気にした飯山高校。

説明会では、当面の間、現  
状の高校配置を維持するこ  
と、将来的に2校の存続が困  
難となった場合は下高井農林  
高校を飯山高校の地域キャン  
パスとすること、などの概要  
が説明されました。

### 将来にわたる 2校の存続に向けて

1月に県に提出した提言の  
中には、魅力ある高校教育推  
進のための新たな地域組織の  
設置がうたわれており、その  
役割を担う「岳北地域高校の  
魅力づくり研究協議会」(会  
長・足立正則飯山市長)が7  
月28日に発足しました。

## ひとり親世帯への 臨時特別給付金のご案内

新型コロナウイルス感染症  
の影響で、子育て負担の増加  
や収入が減少したひとり親世  
帯を支援するため、臨時特別  
給付金を支給します。

### (1)基本給付

■給付対象(次の①、③の  
いずれかに該当する方) ①  
令和2年6月分の児童扶養  
手当受給者(全部停止除く)  
②公的年金等(遺族年金、  
障害年金等)を受給してお

り、令和2年6月分の児童  
扶養手当の支給が全額停止  
されている方(児童扶養手  
当を申請していない方も、場  
合により対象となる可能性が  
あります) ③新型コロナウイルス  
感染症の影響により  
収入が児童扶養手当の受給  
水準まで減少した方  
■給付額 1世帯5万円、  
第2子以降1人につき3万円  
■手続き ①に該当する方

は、給付金の支給申請手続  
きは不要ですが、②または  
③に該当する方は、申請が  
必要となります。該当する  
と思われる方は、まずはご  
相談ください。

### (2)追加給付

■給付対象 「基本給付」対  
象の①または②に該当する方  
で、新型コロナウイルス感染  
症の影響で収入が減少した方  
■給付額 1世帯5万円  
■手続き 給付金の支給申  
請手続きが必要となりま  
す。該当すると思われる方  
は、まずはご相談ください。

### 給付時期

児童扶養手当を受給してい  
る方への基本給付分は8月中  
に、その他は申請受付次第、  
9月以降の支給を予定してい  
ます。

### お問い合わせ

臨時特別給付金について  
詳しくは、今月の市報と一緒に  
配布したチラシをご覧い  
ただくか、市役所子ども育成  
課子育て支援係(市役所3階)  
までお問い合わせください。

## 大きいプールは楽しいな

しるやま保育園のプールは、昨年の台風19号災  
害での破損による改修工事が使えないため、7月下  
旬から市民プールを使わせてもらいました。

長い梅雨の今年は、なかなかプールに入れない日  
が多いですが、この日は滑り台もある大きなプール  
で仲良く水泳を楽しみました。



## 第47回飯山市駅伝大会

### 開催中止のお知らせ

10月11日に開催を予定しておりました第  
47回飯山市駅伝大会は、7月30日に開催した  
実行委員会にて開催中止を決定いたしました。

大会実行委員会では、新型コロナウイルス感  
染症の収束が見通せない状況の中、対策につ  
いて検討しましたが、感染リスクの排除は極めて  
困難であると判断し、大会に関わる方々の3密  
を回避した競技運営は難しく、やむを得ず中止  
の決定に至りました。

何卒ご理解いただきますようお願い申し上げ  
ます。

(お問い合わせ)

スポーツ推進室スポーツ振興係  
電話 62-3111 内線 353

飯山北、飯山南、飯山照  
丘3校の歴史を受け継ぎ、ま  
た昨年は野球部が夏の甲子園  
出場の快挙を成し遂げた飯山  
高校と、農林業をはじめとし  
た地域の基幹産業の担い手を  
数多く育成してきた下高井農  
林高校の更なる魅力向上に向  
け、協議会では今後、飯山高  
校部会と下高井農林高校部会  
に分かれて、それぞれ検討が  
行われ、必要であれば県に意  
見を提出する予定です。



下高井農林高校は「そば班」による「のうりん食堂」の取り組みなど特色ある取り組みで地域を盛り上げている。

### 人権学習 シリーズ

## 夢中になれることと居場所感

飯山小学校長 中澤 正幸

昨年度、十月に行われた  
飯山市の人権学習会に参  
加しました。その折に、講  
師の方からある新聞記者  
の方と懇談された時のエピ  
ソードを最後に紹介してい  
ただきました。それは、そ  
の記者の方が小学校の頃ひ  
どいじめを受け、そのこと  
で記者の母親が校長に話  
をされたことについてです。

次のような内容です。  
「校長先生、どうしていじめ  
がなくならないかわかりま  
すか?...それは、差別する  
ことがおもしろいからです。  
...でも、すてきな夢をもっ  
ている人はいじめません。  
いじめよりもおもしろい  
ことを教えて下さい。」

本校では、学校づくりの  
基盤に「この子どもにとつ  
ても安心して生活できる学校  
」学級の仲間、学年の仲間  
、全校の仲間と一緒に、そし  
て、先生、地域の方と夢中  
になれる楽しい学校」を位  
置づけています。

毎朝育てている野菜の生  
長の見守り、水やりの世話  
をしているAさん。ある日、  
初物のキウイを一本収穫  
しました。それを見せたく  
れた時のとつてもすてきな  
笑顔。野菜作りを楽しみ、  
これまで友だちや先生と一  
緒に活動してきたことの手  
応えが、この笑顔に表れて  
います。夢中になって取り  
組むことができる学びをし  
ているAさん。教室の学習  
では、やり方が分からなく  
て困っている友だちに寄り添  
い、一緒に考えている姿があ  
りました。自分ができるだ  
けでなく、「友だちを支えら  
れる私」という役割がある  
教室です。

日々の学校生活が、夢  
中になれる学びであること、  
そして、自分の役割がある  
という居場所感が基盤に  
あってこそ、人権について学  
習していくことが深い理解  
になっていくのではないかと  
思います。